

はじめに

いつも WJOG に多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。

WJOG は理事長、データセンター長も新たな顔ぶれとなりましたが、今回の Vol.6 からは WJOG 通信の編集体制も新しくなっております。

新理事長、新データセンター長のご紹介とともに、私の同分野・同世代の仲間たちが主導する臨床研究についてみなさまにご紹介させていただく機会をいただきましたこと、大変うれしく思います。

これからも WJOG は、よりよいがん治療を提供するための取り組みを続けて参ります。変わらぬご支援を、よろしくお願い申し上げます。

編集担当者より（WJOG 教育広報委員/鳥取大学医学部附属病院 呼吸器内科・膠原病内科 阪本 智宏）



2023 年 5 月に開催した総会 新旧役員集合写真



山本 信之 理事長
和歌山県立医科大学病院
呼吸器内科・腫瘍内科 教授

～WJOG 理事長に聞いてみたいこと～

WJOG 理事長に就任して 3 か月、感想を教えてください。

WJOG 会員および職員の熱意を感じています。各臓器グループで差があると思いますが、世代交代も順調に進んでいると思っています。一方で、制度疲労をきたしているかもしれない部分もあり、微調整が必要です。継続と変化のバランスを考えながら、舵取りをする必要性を感じています。

WJOG では今後どんな臨床試験を実施の予定ですか？

これまで通り、真面目な臨床試験を誠実に実施して予定です。我々の成果が、癌医療の進歩に貢献することだけを念頭に、臨床試験の形態にはこだわらずに様々なものにチャレンジしたいと思っています。例えば、グローバル、少なくとも東アジア全体を巻き込んだような臨床研究ができるような体制整備ができないかと考えています。

最後に「寄附してくれた市民向け・一般の方」へメッセージをお願いします。

ご寄付をいただきましてありがとうございます。WJOG は臨床研究を通じて、がん診療を進歩させることにより、がん患者、家族、その関係者に幸せになっていただけるよう日夜努力している医療関係者の集団です。その活力源になるのは、そのすべての方々笑顔です。笑顔の数が増え、その時間が少しでも長くなるよう、これからも一同頑張っていきますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

～データセンター長に聞いてみたいこと～

WJOG のデータセンターはどんな仕事をしていますか？ どこにあるんですか？

臨床研究に必要な患者さんのデータを研究参加施設からインターネットを通じて収集しています。研究に必要なデータだけなので、大阪なんばのデータセンターでは患者さんの氏名、生年月日などは判りません。さらに、外部からデータをのぞき見されたり、漏洩したりしないように万全のセキュリティ対策をしております。

ところで、ある薬剤や手術方法による延命効果を知るためには、患者さんの亡くなった情報だけではなく、いつの時点で生存が確認できるのか判らないと統計解析では正しく推測できません。そのため、データセンターの職員は研究計画書から必要な情報をどのように収集するのか準備するところから始まり、各研究施設に定期的にこれらの情報を伝えて頂くように連絡をします。さらに、集められたデータが研究計画の意図通りの内容であるかを確認し、誤りがある場合には各施設に問合せをしております。また、研究開始前から倫理委員会や認定臨床研究審査委員会に必要な資料を用意し、研究開始後も、安全性情報を含む研究の進捗状況を確認してレポートに纏めて、委員会や研究者間の情報共有のための支援を行っております。

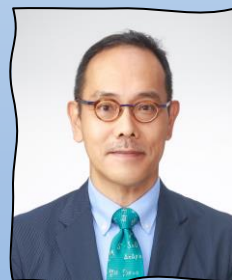
これらの活動を通じて、最終的に収集したデータは統計の専門家の先生の指導を下に薬剤や手術方法の有効性や安全性について解析を行い、その解析結果を基に研究者が学会・論文発表を行っています。これらの研究成果が今後の治療法に役立つ情報となることは言うまでもありません。そのためには、研究者である臨床医の先生方を通じて、患者さんと繋がっていることを忘れず、薬機法、臨床研究法や各種通知を遵守しながら、データの信頼性が確保されていることを常に念頭に置いて業務に取り組んでいます。

着任して気づいた WJOG や WJOG データセンターのいいところを教えてください。

データセンターの職員の業務の範囲がとても広い一方で、専門性の高い仕事をしていることに驚きました。さらに経験を積むだけではなく、どのように新しい知識を得るのかについて貪欲であり、極めて前向きに業務に取り組んでいる姿勢が印象的でした。また、がん患者の延命効果を検証する臨床試験では何年もの研究期間が必要であり、持続可能な体制を維持することに職員全員の意識が高いことも予想以上でした。研究開始前から、学会・論文発表まで研究者と連絡を取りながら全体を俯瞰できる仕事は、職種は同じでも企業の社員と大きな違いがあるように思いました。

今後の抱負や目標を「寄付してくれた市民向け」をお願いします。

がんは国民の 1/2 が罹患する病気です。家族、親戚も含めて他人事ではありません。多くの患者さんにとって、初めてがんと診断された時にどんな治療法があるのか？ 有効性や副作用の情報は気になると思います。ネットで様々な情報が集められる時代になりました。自分も肺がんのキャンサー・サバイバーとして、そのような経験をしました。その際に玉石混交ではなく、臨床研究を通じてがん患者に少しでも有益で信頼性の確かな情報を提供できる取り組みが極めて重要と思いました。それを大学、市中の病院を問わず各医療機関の医師が自ら研究者となって、多施設共同で研究を進めることが出来る体制を用意しているのが WJOG です。より多くの研究を実施し、専門医が納得できて多くのがん患者さんに有益で安心できる情報を提供できるようにこれからも努めて参ります。



石塚 直樹 データセンター長
京都大学大学院医学研究科
附属医療 DX 教育研究センター
特定教授

オンコロセミナーのご案内



特定非営利活動法人 西日本がん研究機構(WJOG)、特定非営利活動法人 近畿がん診療推進ネットワーク、エイツーヘルスケア株式会社、がん情報サイト「オンコロ」(3H クリニカルトライアル株式会社)が連携しお届けする共催がん医療セミナーです。

開催 6 年目を迎えた 2023 年は、原則毎月第 2 金曜日に「夜間学校」、原則毎月第 3 水曜日に「笠井信輔のこんなの聞いてもいいですか on the WEB」の 2 本立てとなっています。

■「夜間学校」は、罹患者数が多いがん(肺がん、胃がん、乳がんなど)を取り上げ、各疾患のオピニオンリーダーを講師に迎え、講義と質疑応答で進める 60 分のセミナー形式でお届けいたします。

■「笠井 信輔のこんなの聞いてもいいですか」は、ご自身も悪性リンパ腫のサバイバーでいらっしゃるフリーアナウンサーの笠井信輔さんをホストに迎え、がんの基礎情報から生活の在り方まで、幅広い内容を共に学んでいきます。また本セミナーは、全コンテンツをウェブライブ配信し、後日オンコロ YouTube チャンネル『OncoloChannel』にアーカイブ配信いたします。お申込みは不要です。是非、ご聴講ください。

 原則毎月第二金曜 19:00~	日にち	テーマ	講師
	10/13(金)	乳がん	酒井 瞳 先生 (昭和大学 先端がん治療研究所)
	11/10(金)	肺がん	津谷 康大 先生 (近畿大学病院 呼吸器外科)
	12/8(金)	臨床試験	藤本 大智 先生 (和歌山県立医科大学病院 腫瘍内科)
 原則毎月第三水曜 20:00~	日にち	テーマ	講師
	10/18(水)	がん患者の食事は どうすればいいの?	川口 美喜子 先生 (大妻女子大学 家政学部 食物学科管理栄養士専攻)
	11/15(水)	アドバンス・ケア・ プランニング (ACP)ってなに?	長谷川 一男 さん (肺がん患者の会ワンステップ) 中村 恵 さん (もしバナマイスター)
	12/20(水)	サバイバートーク: 女性特有のがんの 問題とは?	原 千晶 さん (よつばの会)

QR コードを読み取ると、オンコロホーム番組詳細ページにリンクしております！

過去に配信した番組内容も視聴いただくことができますので、是非アクセスください。

2024 年度も企画準備しておりますので、お楽しみに。

WJOG が行っている臨床試験の紹介

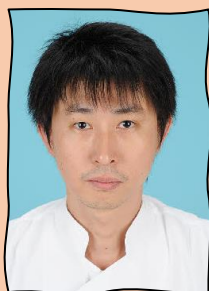
※登録受付中

WJOG13920L ORIHALCON

EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するオシメルチニブ単剤療法継続中の残存病変への地固め放射線療法のランダム化第 II 相試験

研究代表者 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 釘持 広知

研究事務局 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 高 遼



WJOG13920L 研究事務局
高 遼
静岡県立静岡がんセンター
呼吸器内科

EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するオシメルチニブ単剤療法継続中の残存病変への地固め放射線療法の有効性・安全性を検討する多施設共同、非盲検ランダム化第 II 相試験です。

オシメルチニブによる初回治療を実施中で、一定の基準を満たす残存病変を有する、EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の患者さんを対象にしており、登録期間は 2022 年 12 月～2024 年 9 月で、76 症例を予定しています。

オシメルチニブと他の薬剤の併用療法の臨床試験は数多く実施されていますが、放射線治療を組み合わせる試験はほとんど行われていません。この試験の結果によって、地固め放射線療法が進行 EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者さんの新たな選択肢となる可能性があります。

WJOG 14720L B-DASH

ALK 遺伝子転座陽性非扁平上皮非小細胞肺癌に対する、初回治療としての Brigatinib + Carboplatin + Pemetrexed と Brigatinib の非盲検化ランダム化第 II 相試験

研究代表者 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 釘持 広知

研究事務局 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 和久田 一茂



WJOG14720L 研究事務局
和久田 一茂
静岡県立静岡がんセンター
呼吸器内科

ALK 遺伝子転座陽性非小細胞肺癌に対する初回治療としてのブリグチニブ、カルボプラチン、ペメトレキセドの併用療法と、ブリグチニブ単剤療法を比較する多施設共同、非盲検化ランダム化第 II 相試験です。

ALK 遺伝子転座陽性で、これから初回治療を受けられる患者さんを対象にしており、登録機関は 2021 年 11 月 22 日～2023 年 11 月 21 日で、110 症例を予定しています。

ALK 遺伝子転座のある非小細胞肺癌患者さんでは、アレクチニブやブリグチニブ、ロルラチニブなどの ALK チロシンキナーゼ阻害剤による治療が標準治療の 1 つとなっていますが、その治療成績は十分ではありません。本研究は、ALK 遺伝子転座のある非小細胞肺癌患者さんを対象に、ブリグチニブに従来の抗がん剤であるカルボプラチン、ペメトレキセドを併用することで治療成績が向上するかどうかを検討することを目的としています。

ご寄付のお願い

次の世代に「より良いがんの治療法」を贈るため、WJOG にご支援をお願いします

次の世代に「より良いがんの治療法」を贈るため、皆様の資金援助を心からお願いいたします。

臨床試験には多くの患者さんに参加していただく必要があるため、一つの病院だけでの臨床試験は困難なことが多く、たくさんの病院が共同で試験を実施する必要があります。そのためには臨床試験を運営するための独立した組織が必要です。また、その運営組織は企業や個々の研究者の利害から独立して運営される必要があります。WJOGはそのような臨床試験運営組織です。

これまでに終了した臨床試験の結果は、国内外の学会で発表され、さらに論文は世界的にみて一流とされる医学雑誌に掲載されました。発表の多くが「がん治療ガイドライン」の根拠論文として引用されるなど、実際の医療に役立っています。

研究者主導臨床試験といえども必要資金は決して少ないものではなく、研究者・医師ならびに医療関係者がボランティア作業をする場合でも一つの臨床試験を計画し、データを集めて整理し、データベースを構築し、統計解析を行い、発表するまでの過程には多額の費用を要します。

臨床試験は社会が次の世代に成果を贈る作業です。私たちそれぞれが何らかの形でかかわることが重要なメッセージとなります。

皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

WJOG役員一同

ご寄附の手続き方法について

クレジットカードからのお振込みの場合

WJOG の WEB サイト <http://www.wjog.jp> または、下記の QR コードからアクセスください。

郵便振替用紙からお振込の場合

口座名称 特非)西日本がん研究機構寄附口
口座名称(カナ) トクビニシニホンガンケンキウキョウフガチ
口座番号 00900-4-274461

銀行からのお振込の場合

銀行名称 ゆうちょ銀行
口座名称 特非)西日本がん研究機構寄附口
口座名称(カナ) トクビニシニホンガンケンキウキョウフガチ
店名(店番) 〇九九(ゼロキウキウ)店(099)
預金種別 普通
口座番号 0274461



寄附に関するお問い合わせ先

WJOG 事務局 TEL:06-6633-7400 E-mail:wjog@wjog.jp